

七條愷 しちじょう 文久二年讃岐國高松生れ（一八六一）。號聽鶯莊主人。

明治十一年上京。蒲生聚亭、服部天容の漢學を學ぶ。うち神田の七條

式寫真版印刷業を始り、（西京書房を經營。また、法書會を興して、雜誌

『書苑』を創刊、良寛等隠れた名筆を紹介する一方、古典保存會を設

けて古典の複製保存を圖つた。更に蜀山人の櫻花詠歌碑を上野公園に

建じ、次で元祿の女流俳人秋色しゅうしきと公園内の秋色櫻の由緒記を史家玉林

晴朗の依頼、『秋色と秋色櫻』（昭和十六年四月一日七條愷刊。復刻

版・六十九年七月七日秋色庵大坂家）と題して出版、併せてその石碑

を建じするは公園文化に貢獻。